**例　　大腸がんと診断され、人工肛門の管理を行いながら、通院による治療と仕事の両立を目指す事例**

勤務情報提供書

飯田市立病院　　　　　　　　科　　　　　　　　　先生

　今後の就業継続の可否、業務の内容について職場で配慮したほうがよいことなどについて、先生に　　ご意見をいただくための従業員の勤務に関する情報です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

従業員氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日：

住所：

|  |  |
| --- | --- |
| 職　種 | *営業職* |
| 職務内容 | （作業場所・作業内容）**具体的に仕事の内容を記載する**　*営業職として客先での打ち合わせや商談のため、外勤や近県への出張が日常的にある。そのほか、ＰＣ作業（資料作成等）のデスクワークにも取り組む必要がある。*□体を使う作業（重作業）　　　□体を使う作業（軽作業）　　　□長時間立位□暑熱場所での作業　　　　　　□寒冷場所での作業　　　　　　□高所作業☑車の運転　　　　　　　　　　□機械の運転・操作　　　　　　☑対人業務☑遠隔地出張（国内）　　　　　□海外出張　　　　　　　　　　□単身赴任 |
| 勤務形態 | ☑常昼勤務　　　　□二交替勤務　　　　□三交替勤務□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 勤務時間 | 　*8*　時　*30*　分～　*17*　時　*30*　分（ 休憩　*1*時間　）　　週　*5*　日間（時間外・休日労働の状況：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（国内・海外出張の状況：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 通勤方法通勤時間 | ☑自動車　　□公共交通機関（着座：可能・不可能）　　□徒歩□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　通勤時間：　*45*　分 |
| 休業可能期間 | 　*A*年　*B*　月　*C*　日　～　*Ｘ*　年　*Ｙ*　月　*Ｚ*　日　まで　（　*20*　日間）給与支給：□有　☑無　　　　　　　　傷病手当金支給：☑有　□無 |
| 有給休暇日数 | 残　*15*　日間　　*業務調整によりある程度計画的に休暇取得が可能**次回付与予定日はX年Y月Z日で、付与日数は２０日です。* |
| 産業保健/労務担当 | ☑産業医　　　□総括安全衛生管理者　　　□衛生管理者　　☑安全衛生推進者□衛生推進者　　□保健師　　　□その他（　　　　　　　　　　　）　　□いない |
| 利用可能な制度 | □時間単位の年次有給休暇　　　☑傷病休暇・病気休暇　　　☑時差出勤制度□在宅勤務（テレワーク）　　　☑短時間勤務制度　　　　　□試し出勤制度□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他特記事項 | **特に主治医の意見が欲しい点について明記する***復職後は体調優先でデスクワークが中心となる予定です。体調や健康管理のために必要な配慮、注意点があれば教えていただきたいです。また、今後の見通しとして、外勤や出張業務に戻せるのは、治療との関係ではいつ頃がよいか、ご意見をいただきたいです。* |

|  |
| --- |
| 上記内容を確認しました　　　　　年　　　月　　　日　　　本人署名： |
| 上記作成をしました　　　　　　　年　　　月　　　日　　　　　会社名：　　　　　　　　　　　　　　　担当者名：□産業医　□総括安全衛生管理者　□衛生管理者　□安全衛生推進者　□衛生推進者　□保健師　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　上記のいずれかに☑をお願いします。 |